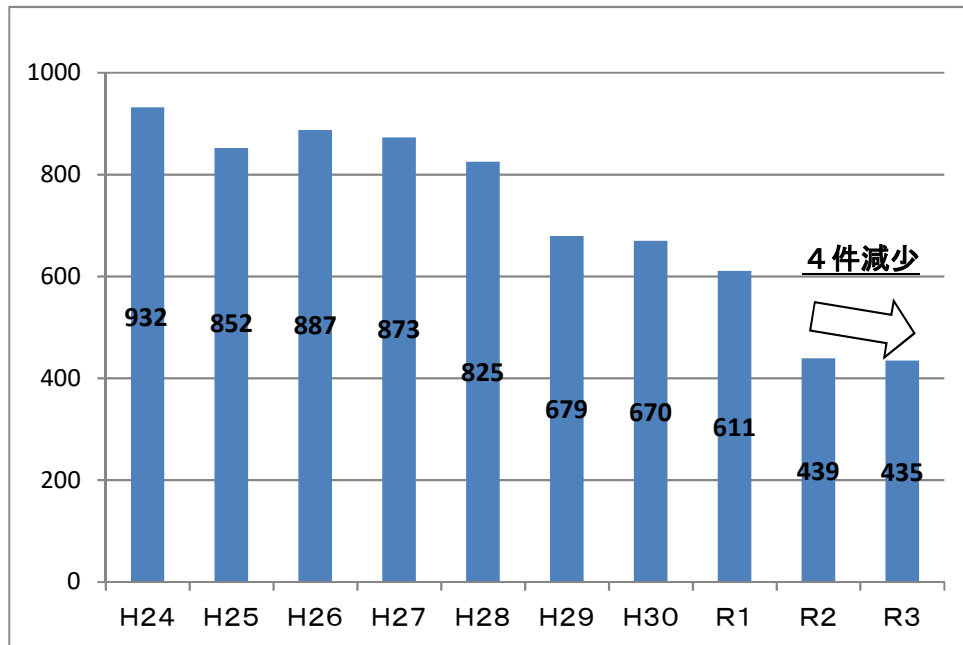


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（令和3年度）

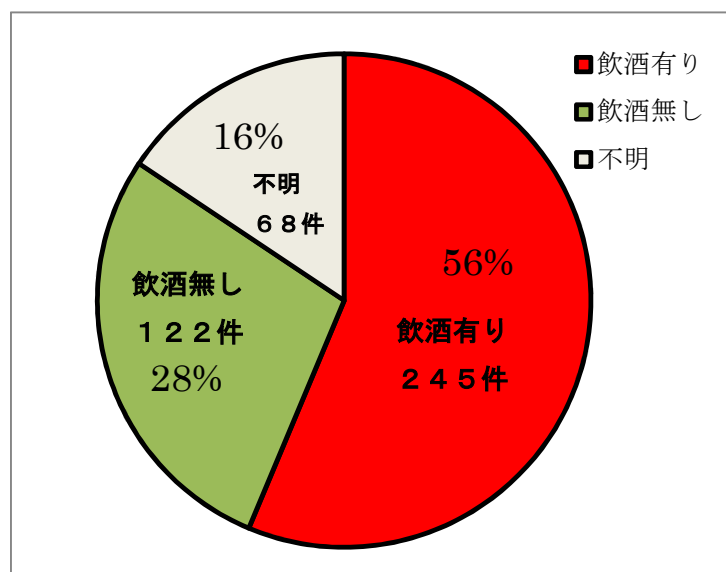
○令和3年度 全国鉄道軌道事業者 計 435件



○加害者の飲酒の有無

半数以上の加害者が飲酒有り

※飲酒が判別できないものは不明（16%）に含む

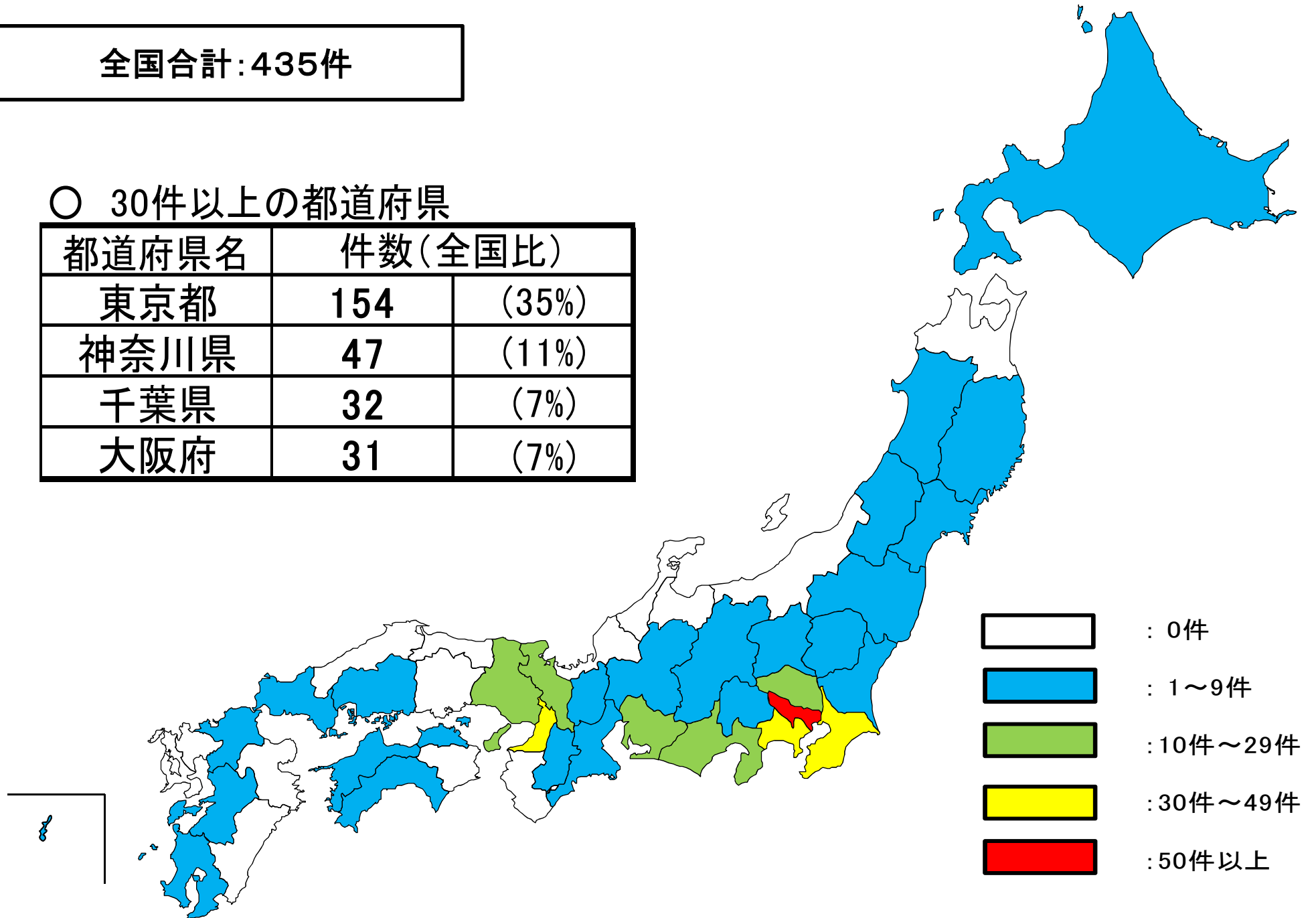


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況(都道府県別・令和3年度)

全国合計: 435件

○ 30件以上の都道府県

都道府県名	件数(全国比)	
東京都	154	(35%)
神奈川県	47	(11%)
千葉県	32	(7%)
大阪府	31	(7%)



鉄道係員に対する暴力行為の発生状況
(都道府県別:令和3年度)

都道府県名	件数	
北海道	8	(3)
青森県	0	(0)
岩手県	2	(0)
宮城県	5	(1)
秋田県	1	(0)
山形県	4	(3)
福島県	2	(1)
茨城県	5	(2)
栃木県	3	(3)
群馬県	1	(1)
埼玉県	23	(19)
千葉県	32	(23)
東京都	154	(106)
神奈川県	47	(23)
新潟県	0	(0)
富山県	0	(0)
石川県	0	(0)
福井県	0	(0)
山梨県	1	(1)
長野県	2	(0)
岐阜県	2	(1)
静岡県	16	(8)
愛知県	28	(17)
三重県	2	(1)

都道府県名	件数	
滋賀県	3	(1)
京都府	10	(3)
大阪府	31	(16)
兵庫県	20	(11)
奈良県	3	(0)
和歌山県	0	(0)
鳥取県	0	(0)
島根県	0	(0)
岡山県	0	(0)
広島県	4	(3)
山口県	1	(0)
徳島県	0	(0)
香川県	1	(0)
愛媛県	1	(0)
高知県	1	(1)
福岡県	5	(2)
佐賀県	0	(0)
長崎県	0	(0)
熊本県	1	(1)
大分県	0	(0)
宮崎県	0	(0)
鹿児島県	1	(1)
沖縄県	3	(0)
全国合計	435	(255)

※ 暴力行為の発生件数は、唾かけ行為なども含めて幅広く集計しており、このうち、()内は警察へ届け出た件数である。

※ 全国合計の件数には、列車内で発生し都道府県別の計上ができない12件(うち、被害届出件数3件)を含むため、合計が合わない。